

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島市 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福島市立北沢又小学校 3～6年生の児童（279名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ）
4 目標 （ねらい）	オリンピック・パラリンピアンのお話を聞くことで、オリンピック・パラリンピックへの興味関心を高める。
5 取組内容	<p>【 平成29年10月6日（参加学年）第4・5・6学年 】</p> <p>リオデジャネイロオリンピック三段跳び選手の山下航平選手をお招きして、「オリンピックと私」という演題で講演をしていただいた。オリンピック参加までの苦労話や、リオオリンピックでの体験、これからの豊富などを、4・5・6年生にもわかりやすく熱く語っていただき、三段跳びの実技もご披露いただいた。</p> <p>【 平成29年11月28日（参加学年）第3・5・6学年 】</p> <p>シドニーパラリンピック女子車椅子バスケットボール銅メダリストの増子恵美選手に「パラリンピックへの道」という演題で講演をしていただいた。</p> <p>小学校時代のバスケットボールとの出会いから、不幸な事故後に車いすバスケットボールと出会って、シドニーパラリンピックで銅メダルを勝ち取るまでの苦労話や、がんばりについてお話しいただいた。</p>
6 主な成果	<p>オリンピック・パラリンピアンのお話を直接聞くことで、オリンピック・パラリンピックへの興味関心が大いに高まった。</p> <p>2020東京オリンピック・パラリンピックを成功させようという意識を高めることができた。</p>

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>子どもたちにとって、オリンピック・パラリンピックがより身近な事業となるよう、福島県ゆかりのオリンピック(山下航平選手)・パラリンピアン(増子恵美選手)をお招きした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>テレビなどで顔の売れたオリンピック・パラリンピアンであれば、子どもたちはもとより、保護者や地域住民の意識も、さらに向上できると思われるが、予算の関係も有り開催が難しい。 今年、講演会が中心となったため、中高学年をメイン対象としたが、低学年児童の興味関心を高めることができるように、実技を伴う事業を開催できればと思う。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>低学年児童にも、オリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めることができるように、実技指導(持久走, 器械体操, 水泳など)を伴うオリンピック・パラリンピアンを招聘し、スポーツへの関心をよりいっそう高めたい。</p>